

中部版

毎月10日号掲載

三重 富山 石川 福井 新潟 長野

産業新規登録

社名	TEL	FAX
住所	代表者	
FMT4388-2	0593-21-4859	21-4859
	芳野 茂	
	059-990-7701	990-7701
3-13	大杉 新吾	

名	抹消年月日	備考
	H17.03.31	
ノグ(株)	H17.03.31	
	H17.04.17	
	H17.04.30	
	H17.05.31	
	H17.06.20	
-ビス(株)	H17.06.29	
	H17.06.20	

伊勢神宮 第62回式年遷宮

お木曳行事の商品化

神社本庁

全旅行業者に拡大

7月1日から受付始まる

今年5月から始まった伊勢神宮の第62回式年遷宮で、平成18年5-6月に行われる「お木曳行事」に1日神領民として参加できる。従来は神社本庁の指定旅行業者を通してしか参加申し込みできなかったが、今回からの旅行業者でも主催、募集が可能になった。7月1日から三重県観光販売システムズで申し込み受付が始まっている。

お木曳行事は、2カ月間にわたる御用材を神宮に曳き入れるもので、巨大なお木曳車で「陸曳」を行う外

今年5月から始まった伊勢神宮の第62回式年遷宮で、平成18年5-6月に行われる「お木曳行事」に1日神領民として参加が可能なのは陸曳で、川曳は見学のみのみ。20人以上の団体であれば、旅行業者を経由しなくても誰でも申し込みできる。陸曳の設定日は5月6、7、12、14、19、21、26、28日と6月2、4日の14日間。

お木曳を行う。外宮の特別参拝をした後、おもてなし会場で解散。三重県宮三アリーナが無料の着替え場所として公開している。

参加費は1人7500円。なお、式年遷宮は平成25年までの8年間に渡って30を超える祭りが繰り広げられ、19年にも第2次お木曳行事が行われる。

お木曳を行う。外宮の特別参拝をした後、おもてなし会場で解散。三重県宮三アリーナが無料の着替え場所として公開している。

別途用意しなければならない。申し込みは、バス1台につき1人以上の添乗員が同行することが条件。すでに7月1日から受け付けており、かなりの予約数だという。曳き手が満員の場合、牽曳車に同行する後見人(参加費6200円)としても参加できる。

宿泊などの手配、商品化は旅行業者自らで設定。

お木曳行事係 ☎052158912689。

山代温泉観光協会



「県内で唯一浴客を100%確保した」と語る吉田会長

健康保養温泉地へ事業化

今年度の主な事業として、①「山代温泉の新CI」に基づく実施事業の継続と検証。昨年実施した諸事業の検証を踏まえ、より効果的な事業実施を目指す。健康保養温泉地づくり(JTB協定旅館連盟支援)事業として「健康とエコ」に配慮した総合健康メニューづくりをテーマに事業実施への研究開発に入る。③関係団体との連携に取り組み。このほか宣伝広報部はメディア宣伝展開、臨時企画宣伝展開、宣伝・CM用資料制作、広報事業対策事業性を訴えた。

同温泉で行った「白山加賀おたからまつり」にも言及。「白山と南加賀が初めて共同イベントを行った。各温泉地はなかなかま

新潟県 瀬波温泉

源泉100%かけ流し 晶子の愛し湯(足湯)開設

夕陽と語りいの宿 政府登録国際観光旅館

夕映えの宿 汐美荘

〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2丁目9-36
TEL (0254) 53-4288(代) FAX (0254) 52-5285
http://www.shiomiso.co.jp

新潟交通大阪事務所 ☎(06) 6373-0410
名古屋案内所 ☎(052) 222-5282

石川県・山代温泉観光協会(吉田久男会長)は7月7日、みどりの宿萬松閣で平成17年度通常総会を開いた。

総会終了後、西武文理大学サービズ経営学部の松坂健教授が「来るべき新しい『旅人』像と町づくり『観光』ではなく『感文』を」と題した講演会を行った。松坂氏は1960年代に反体制運動をしながら80年代にはビジネス社会で成功をおさめたベビーブーマーを指す「ボボス」の行動や思考を紹介し、これまでとは違う感覚の世代をどのように取り組むのか、その必要性を訴えた。